



カメラ だより

はじめてのおはなし会に参加した皆さん



伝統を受け継ぐ！

野田八幡宮境内(8月25日)



野田八幡宮に古くから伝わる雨乞いの儀式である野田雨乞笠おどり。市無形民俗文化財に指定されている祭りで、踊り手たちが浴衣に赤いたすき掛けとすげがさを身に着けた姿で、雨乞いの唄とほら貝の音色に合わせ、太鼓を打ちながら踊ります。地域に残る伝統文化を大切に引き継いでいくため、この日のために練習を重ねてきた踊り手たちの真剣な表情は輝いていました。

防災で地域貢献

東刈谷市民館(9月4日)



「地域貢献をしたい」という思いから、(株)CNKが東刈谷地区へ防災倉庫を寄贈しました。この防災倉庫は東日本大震災で仮設住宅として使用されていたものを再利用したものです。除幕式と安全祈願が行われた後は、地区から感謝状の贈呈も。東刈谷地区長の渋谷福治氏は「企業と地域住民が一緒になることは大切。これからもいろいろな面でお互いに協力していきたい」と話しました。

刈谷の夏の風物詩

総合運動公園(8月16日・17日)



2日間にわたって大きく盛り上がった刈谷わんさか祭り。16日には市民盆おどり大会が行われ、17日は体験型アトラクションや、200店以上の屋台や飲食店の出店によって多くの人でにぎわいました。また、ステージでは刈谷城盛上げ隊の演舞や多数のイベントが行われ観客を魅了。夜にはMusicスターマインなど、約7,000発の花火が打ち上げられ大きな歓声が上がりました。